

平成 20 年（2008 年）の岩手山の火山活動

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

地震活動、噴気活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過しました。

○ 2008 年の活動概況

・地震や微動の発生状況（図 1 ～ 2）

1 月と 12 月に山頂東側のやや深い所を震源とする火山性地震がやや増加しました。また、6 月に継続時間が短く、振幅の小さい火山性微動が観測されましたが、その後の地震活動、噴気活動は低調な状態で特段の変化は認められませんでした。

・噴気など表面現象の状況（図 3 ～ 11）

柏台（黒倉山山頂の北約 8 km）に設置してある遠望カメラでは、黒倉山山頂の噴気の高さは 100m 以下で、噴気活動は低調な状態で推移しました。

10 月 14 ～ 15 日に西岩手山（大地獄谷、黒倉山から姥倉山）の現地調査を、12 月 4 日に陸上自衛隊東北方面総監部の協力により上空からの観測を行いました。その結果、岩手山山頂、御苗代湖、西小沢、大地獄谷、黒倉山など噴気の状況、地表面温度分布¹⁾に特段の変化は認められませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.sendai-jma.go.jp/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

資料は気象庁のデータその他、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。

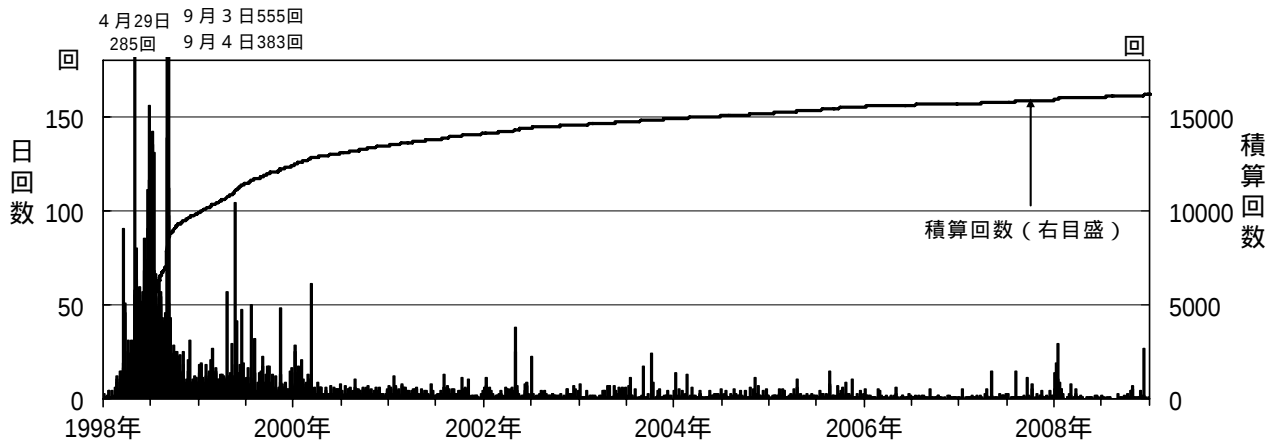


図1 岩手山 日別地震回数(1998年1月～2008年12月)

注) 2006年1月1日より、地震回数の基準点を東北大学松川観測点(計数基準: 振幅 $1.0\mu\text{m/s}$ 以上で S-P 時間 2 秒以内)から焼切沢観測点(計数基準: 振幅 $0.5\mu\text{m/s}$ 以上で S-P 時間 2 秒以内)に変更しました。2000年1月以降は滝ノ上付近の地震など山体以外の構造的な地震を除外した回数です。(1998年から1999年までは滝ノ上付近の地震など山体以外の構造的な地震も含む)

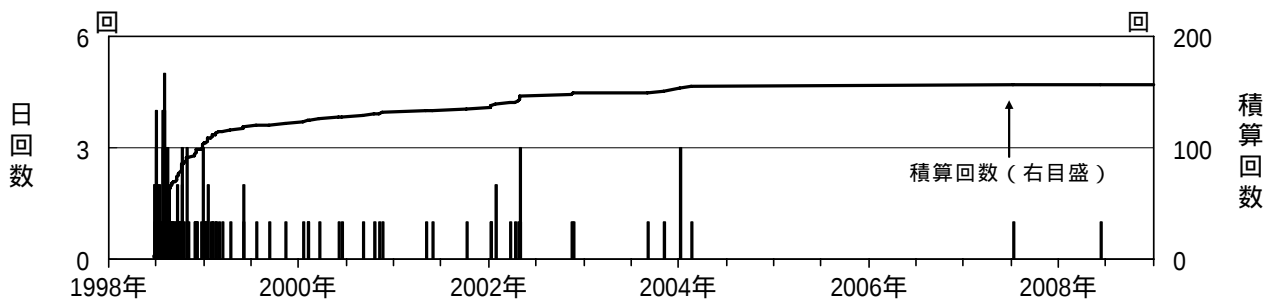


図2 岩手山 日別微動回数(1998年1月～2008年12月)

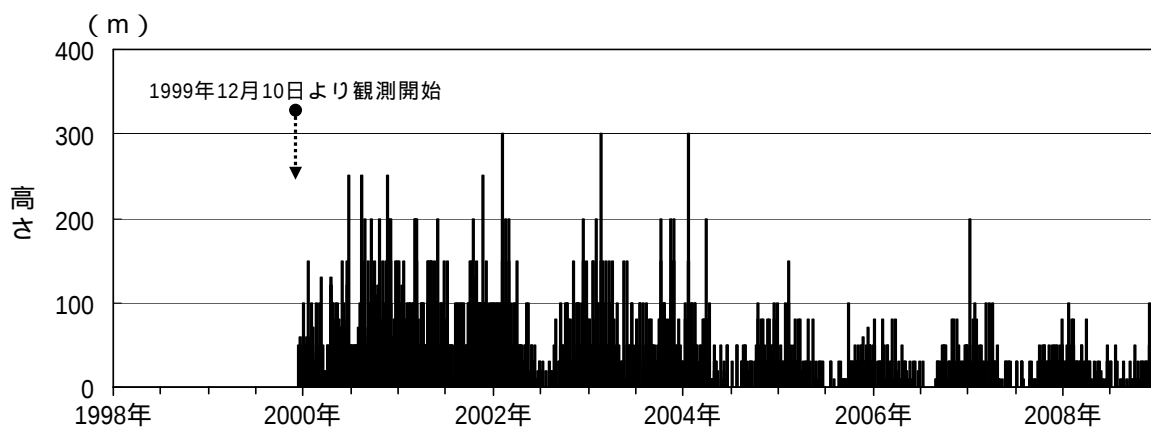


図3 岩手山 日最大噴気の高さ(黒倉山)(1999年12月10日～2008年12月)

柏台遠望カメラで、1999年12月10日より観測を開始しています。

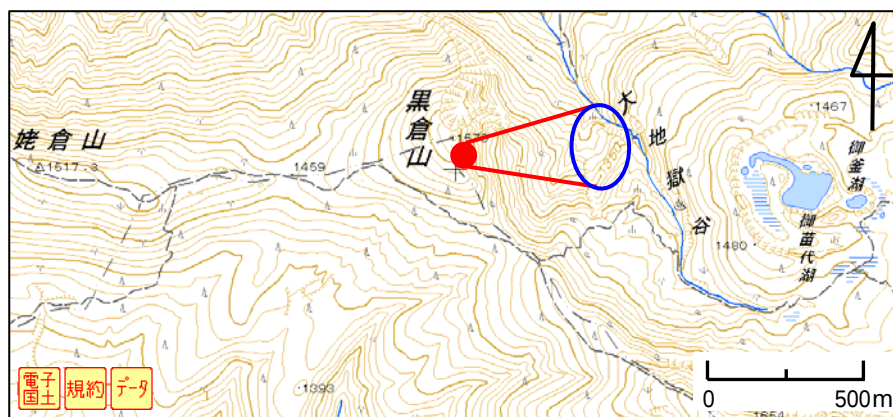


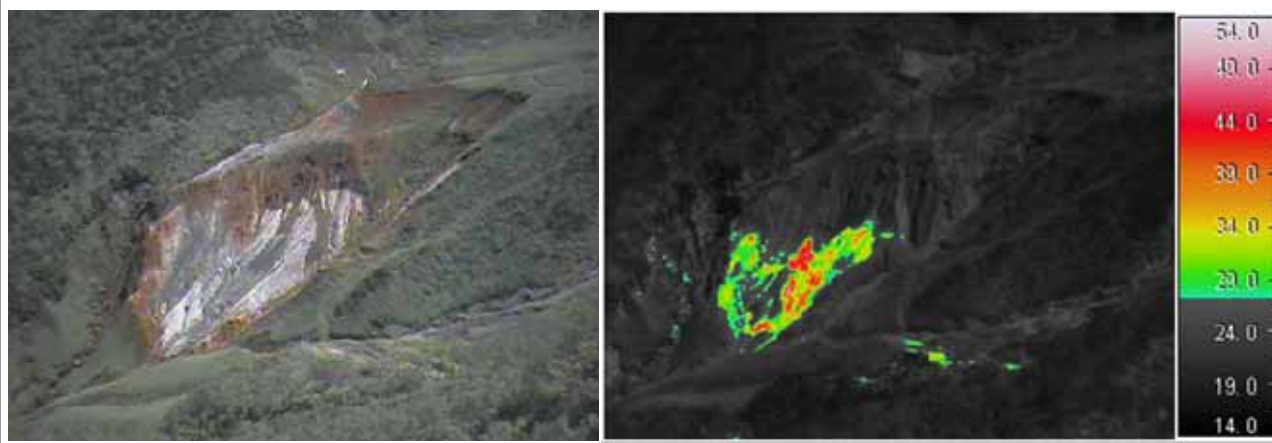
図4 岩手山 2008 年 10 月 15 日の観測における赤外画像撮影位置

出典：「電子国土」 URL <http://cyberjapan.jp/>

○：大地獄谷付近の赤外画像撮影範囲

→：撮影方向

2007 年 8 月 29 日 撮影



2008 年 10 月 15 日 撮影

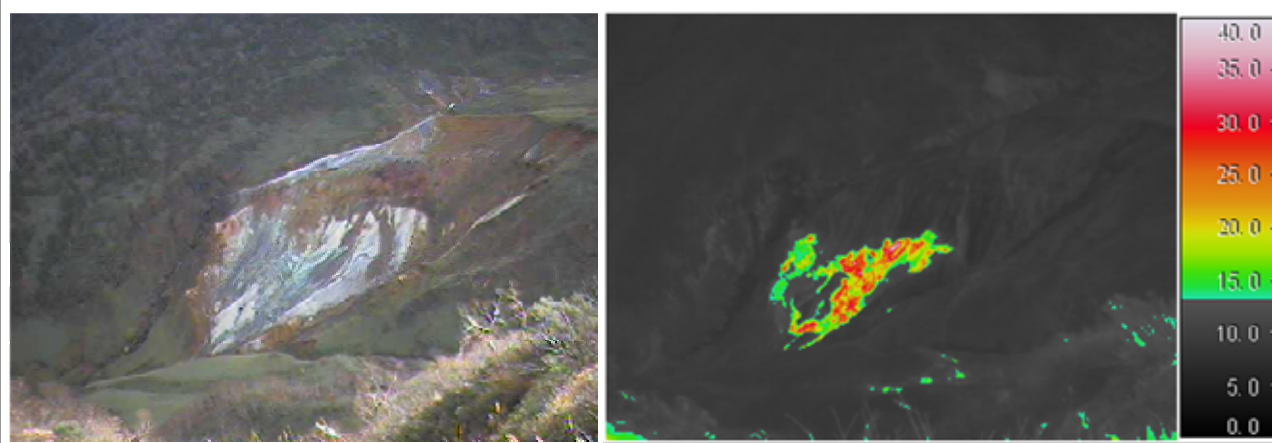


図5 岩手山 大地獄谷の可視画像（左）と赤外画像（右）

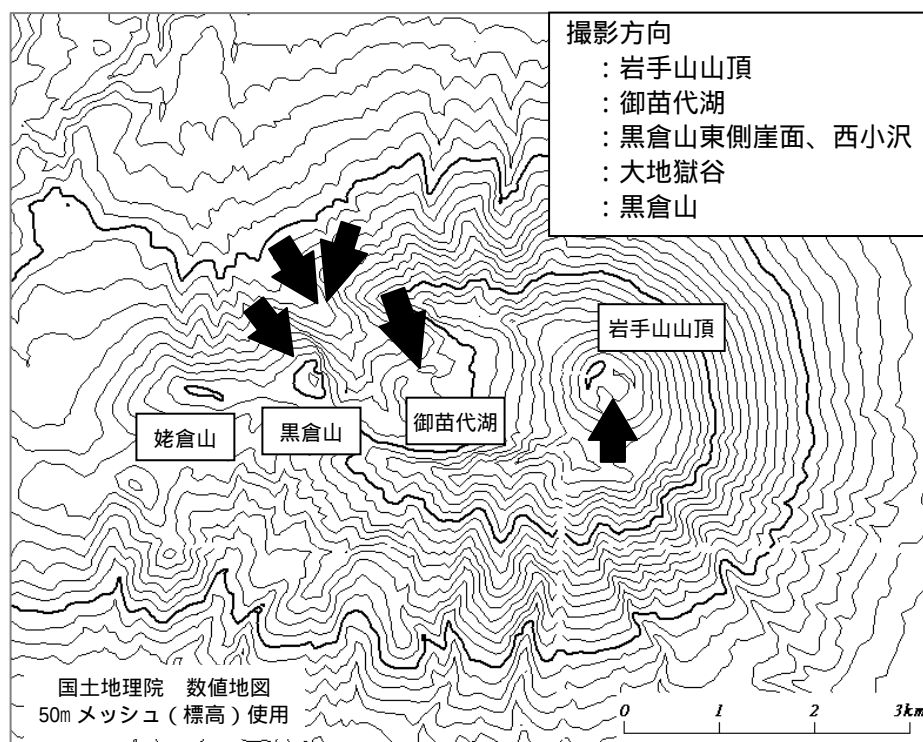
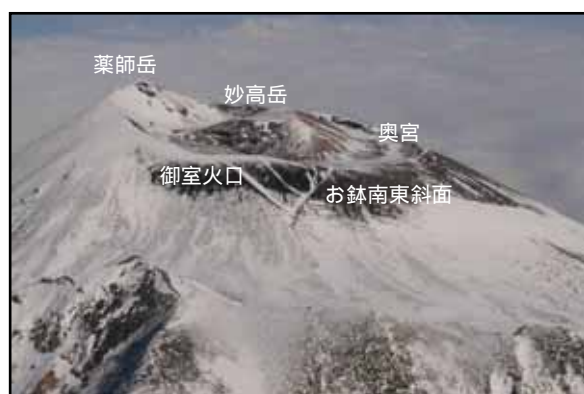
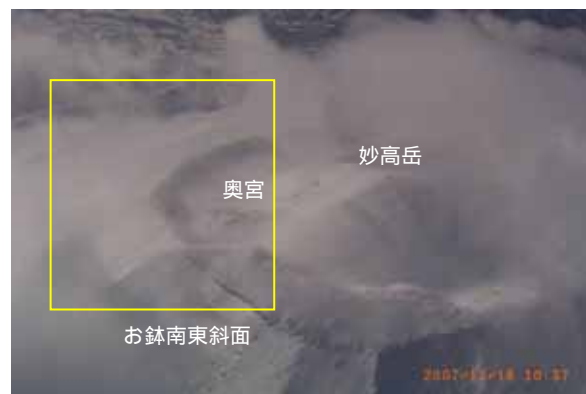


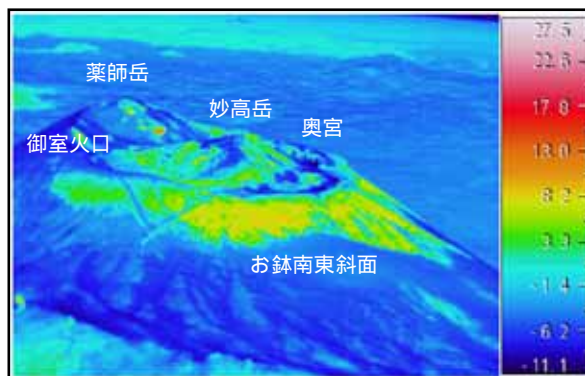
図 6 岩手山 2008 年 12 月 4 日の観測における撮影方向



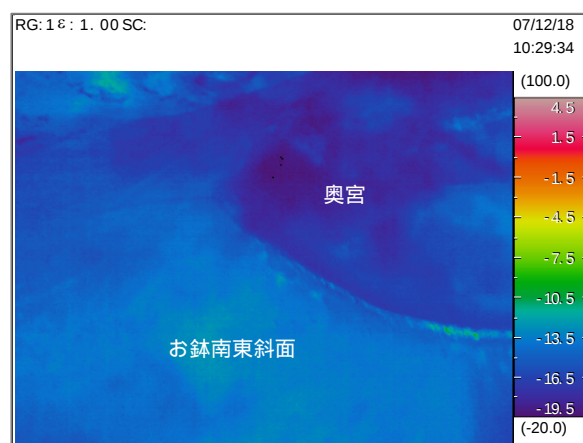
可視画像



可視画像



赤外画像



赤外画像

2008 年 12 月 4 日、図 6 の撮影方向 から撮影

2007 年 12 月 18 日撮影

可視画像 (上段) 中の黄色い四角枠が赤外画像 (下段) の範囲

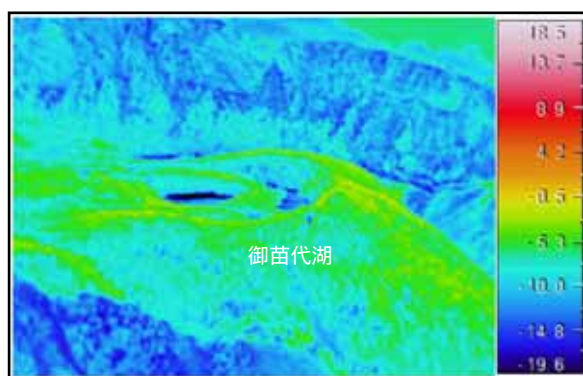
図 7 岩手山 山頂の可視画像 (上) と赤外画像 (下)



可視画像

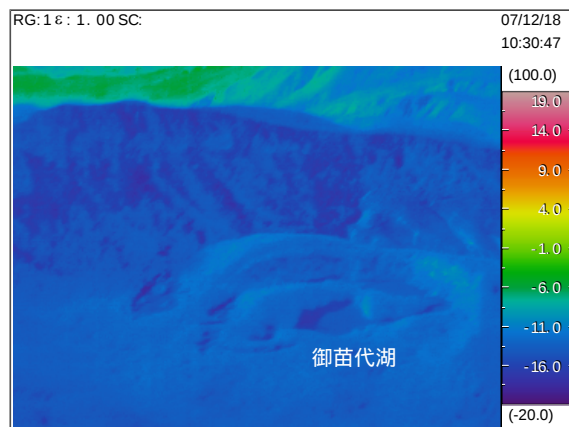


可視画像



赤外画像

2008 年 12 月 4 日、図 6 の撮影方向 から撮影



赤外画像

2007 年 12 月 18 日撮影

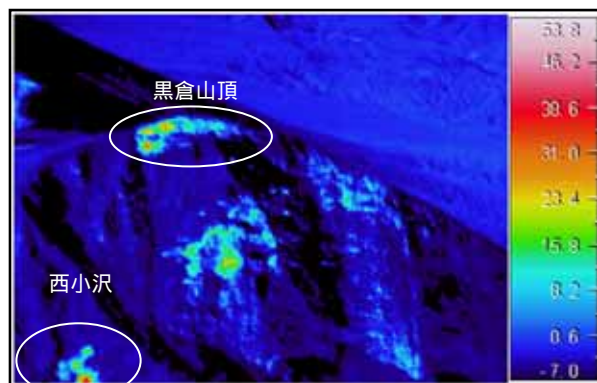
図 8 岩手山 御苗代湖の可視画像（上）と赤外画像（下）



可視画像

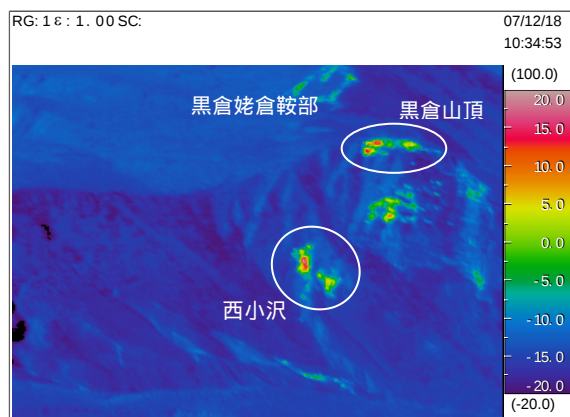


可視画像



赤外画像

2008 年 12 月 4 日、図 6 の撮影方向 から撮影



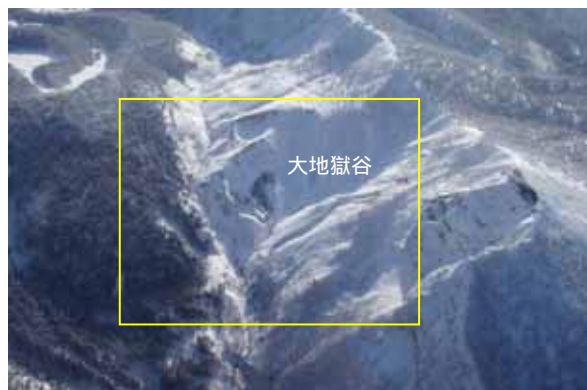
赤外画像

2007 年 12 月 18 日撮影

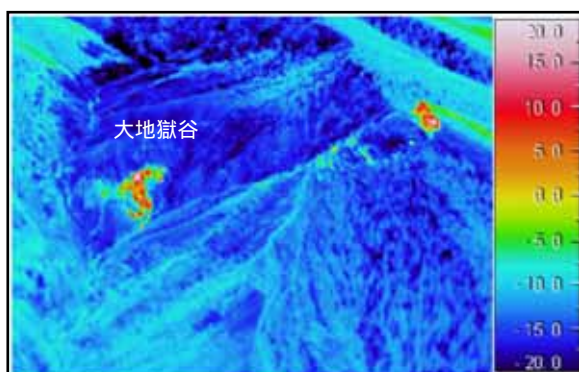
図 9 岩手山 黒倉山東側崖面、西小沢の可視画像（上）と赤外画像（下）



可視画像

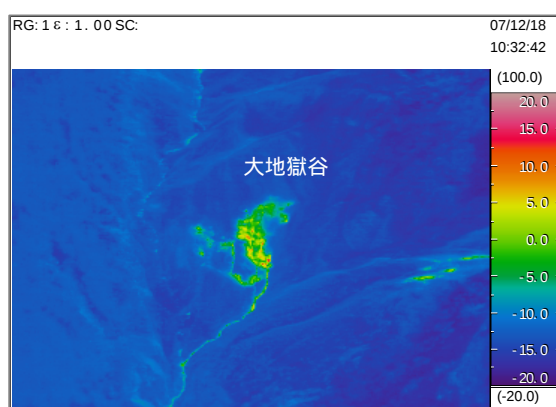


可視画像



赤外画像

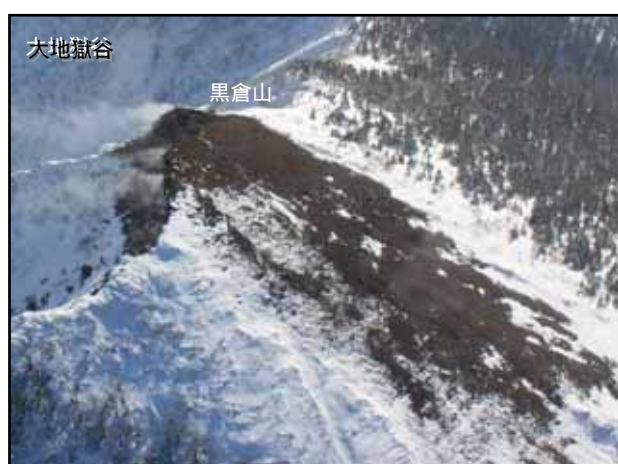
2008 年 12 月 4 日、図 6 の撮影方向 から撮影



赤外画像

2007 年 12 月 18 日撮影
可視画像（上段）中の黄色い四角枠が赤外画像（下段）の範囲

図 10 岩手山 大地獄谷の可視画像（上）と赤外画像（下）



2008 年 12 月 4 日、図 6 の撮影方向 から撮影



2007 年 12 月 18 日撮影

図 11 岩手山 黒倉山の可視画像

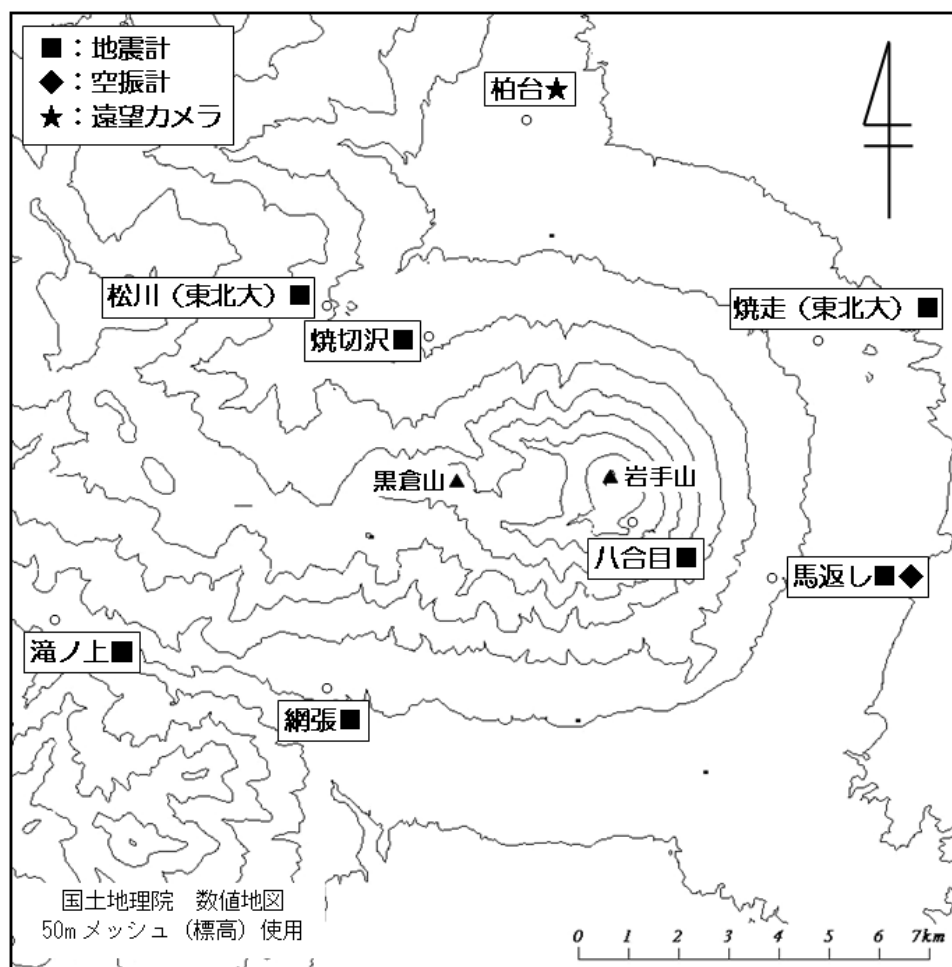


図 12 岩手山 観測点配置図

表 1 岩手山 気象庁の常時観測点一覧

観測種類	地点名	位置			観測開始日	備考
		緯度	経度	標高 (m)		
地震計	焼切沢	39° 52.65	140° 57.55	763	2005.11.17	短周期 3 成分
	馬返し	39° 49.92	141° 02.44	600	1995.10.3	短周期 3 成分
	八合目	39° 50.64	141° 00.39	1767	1998.5.15	短周期 3 成分
	網張	39° 48.86	140° 56.09	640	1998.12.8	短周期 3 成分
	滝ノ上	39° 49.58	140° 52.30	670	1998.7.28	短周期 3 成分 1999年7月1日：現在の場所に移設
空振計	馬返し	39° 49.92	141° 02.44	600	1998.11.28	
遠望カメラ	柏台	39° 55.0	140° 58.90	450	1999.12.10	